

平成15年度 関西大学 国内研究員

研究助成課 1 - 1

学部	人数枠	資格	氏名	期間	主たる研究先	研究目的
文		助教授	大島 薫	H15.4.1 ~ H16.3.31	1 神奈川県立金沢文庫 2 東大寺図書館 3 本学 4 国文学研究資料館 5 真福寺大須文庫 6 勸修寺	種々の講会において、学侶が講説し、表白した「詞」を伝える文献資料の集中的な調査を試み、各寺院における聖教調査に参加する。また、説法の上手として名高い安居院澄憲が草した『法華経品釈』並びに『釈門秘鑰』の翻刻と注釈的研究を進めて、澄憲の学問の有様を明らかにし、宗教活動において語られた「詞」の形成と、文学が生成され享受された「場」の問題について考究する。併せて、研究題材とする文献が、いかなる学侶間の交流において流布し、伝播したものであるかを考究するために、聖教の奥書ならびに印信・血脈に関する研究もすすめる。
商	全学で 3名 以内	教授	吉田友之	H15.4.1 ~ H16.3.31	1 本学 2 沖縄国際大学 3 立命館アジア太平洋大学 4 沖縄 FTZ (自由貿易地域)、青森、宮城、茨城、新潟、静岡、京都、境港、山口、愛媛、高知、熊本、大分の各 FAZ (輸入促進地域) 5 苫小牧港地域、伏木富山港地域、和歌山港地域	従来貿易になじみの薄かった地域も、貿易関連の基盤設備の整備は一段落し、今後はソフト面での整備の如何が貿易振興の成否の鍵となる段階に入った。ここでは各国・各地域により異なる商習慣、なかでもトレード・タームズ(貿易定型取引条件)に対する造詣の深さが求められる。 これに関して、沖縄をはじめ全国の地方港湾地域で貿易取引をおこなっている中小貿易業者を対象に、アンケート調査によるデータの分析および聴き取り調査を中心とした実証的研究を通じて、地方港湾地域にある中小貿易業者のトレード・タームズに対する理解度と使用実態、および地方と都市間の貿易業者のその理解度と使用実態の相違点を明らかにする。さらに、今後貿易振興を目指す地方港湾地域でのトレード・タームズの適正使用の方策および地方と都市間の貿易業者のその理解度のギャップを埋めるための方策を提言する。

* 年齢及び在職年数は、平成15年4月1日現在である。